2025 年 1 月 17 日

各　位

会　社　名　株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
代 表 者 名　代表取締役社長　渡邊 壽信
コード番号　7173　東証プライム市場
問 合 せ 先　経営企画部長　木村　智勇
（TEL 03－6447－5799）

「夢・かがやき 1 号ファンド」による株式会社マーク電子の株式譲渡について

きらぼしグループのきらぼしキャピタル株式会社（代表取締役社長 田中 俊和、以下「きらぼしキャピタル」といいます。）が運営する「きらぼしキャピタル・マーキュリアインベストメント投資事業有限責任組合（通称：「夢・かがやき 1 号ファンド」）」（以下、「本ファンド」といいます。）は、2019 年 8 月に投資を行った株式会社マーク電子（代表取締役社長 大津 恭男、以下「マーク電子」といいます。）の全株式をパスレル株式会社（代表取締役 大津 恭男、以下「パスレル」といいます。）に譲渡しましたのでお知らせいたします。

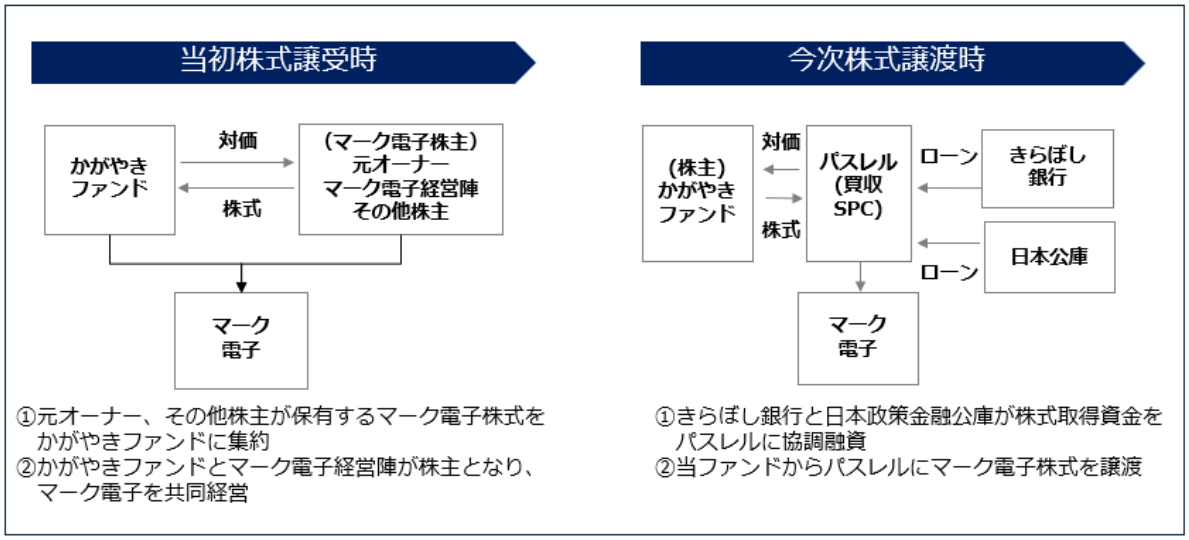
【株式譲渡の背景・経緯】

マーク電子は医療機器・各種計測機器の企画・開発メーカーで、設計開発部門に強みを持ち、その製品・技術力は大手医療機器メーカーや大学・研究機関から高い信頼を獲得しています。しかしながら、創業から 50 年を迎え、創業経営者の高齢化や次世代への承継という大きな課題を抱えており、そうした状況下、本ファンドが事業承継支援を目的として株式を取得いたしました。

以来、5 年に亘り組織の再編・強化、収益管理システムの構築、営業力の強化など、事業の発展・成長を支援する中、マーク電子の将来における更なる企業価値向上に繋がると判断し、MBO（マネジメント・バイアウト）※ による株式譲渡に至りました。

なお、今回の MBO に際し、きらぼしグループの株式会社きらぼし銀行（取締役頭取 渡邊 壽信、以下「きらぼし銀行」といいます。）および株式会社日本政策金融公庫（代表取締役総裁 田中 一穂、以下「日本政策金融公庫」といいます。）が、パスレルに対して協調融資にて当該株式取得資金を交付しております。

＜今回の MBO スキーム＞



※ MBO（Management Buyout）とは、企業の経営者や現経営陣が、自社の株式を買い取り、企業の所有権を取得する手法です。言い換えれば、経営陣が自社の経営権を握ることを目的とした買収のことです。この手法は、企業の独立性を保ちながら経営の自由度を高め、意思決定のスピードアップや従業員のモチベーションの向上等のメリットがあります。

【投資先会社概要】

企　業　名	株式会社マーク電子
代　表　者	代表取締役社長　大津　恭男
住　　所	神奈川県相模原市緑区橋本台 1-32-1
設　　立	1977 年 2 月
業　　種	医療機器、計測機器、制御機器の製造

【「夢・かがやき 1 号ファンド」概要】

名　　称	きらぼしキャピタル・マーキュリアインベストメント投資事業有限責任組合 （通称：「夢・かがやき 1 号ファンド」）
設　立　日	2018 年 11 月 9 日
有限責任組合員(LP)	きらぼし銀行 他
無限責任組合員(GP)	きらぼしキャピタル、マーキュリアインベストメント
投 資 方 針	あらゆる手法で株式を一定期間保有することにより、円滑な事業承継と、今後の成長戦略を支援することを目的とします（経営に参画しハンズオン支援を実施します）。

きらぼしグループは、パーパス「TOKYO に、つくそう。」のもと、グループの総合力を最大限に活用しながら、金融の常識を超えてお客さまのあらゆるライフステージにおける課題解決にコミットし、地域経済・地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

以　上